

経営比較分析表（令和元年度決算）

熊本県 苓北町

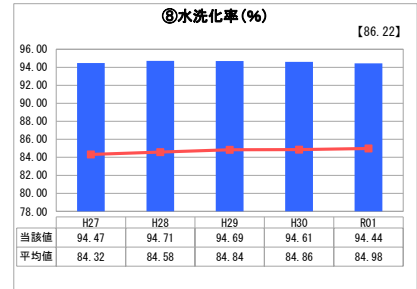
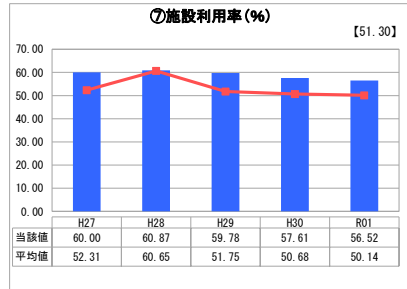
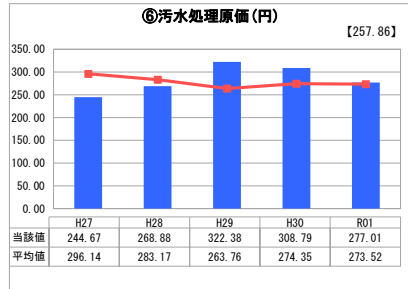
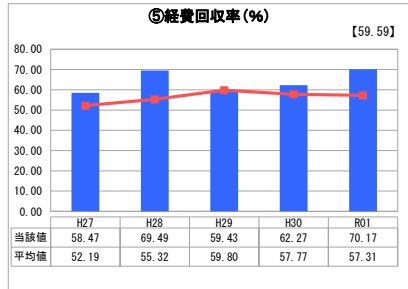
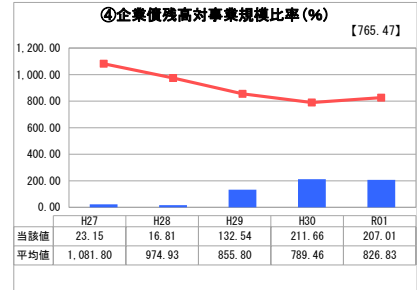
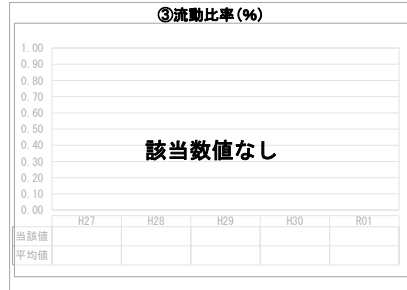
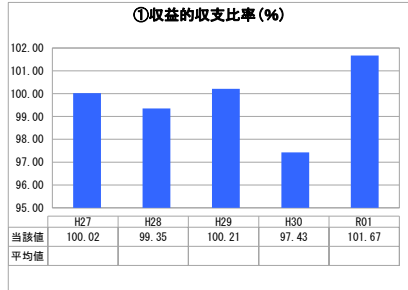
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法非適用 | 下水道事業 | 農業集落排水 | F2 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家産料金(円) |
| - | 該当数値なし | 2.81 | 83.41 | 3,790 |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 7,129 | 67.58 | 105.49 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 198 | 0.21 | 942.86 |

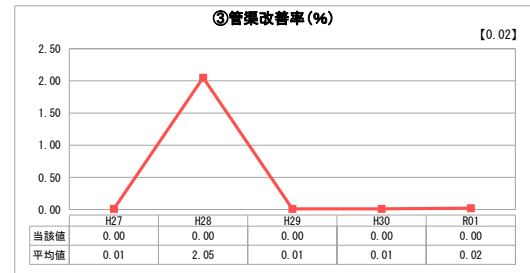
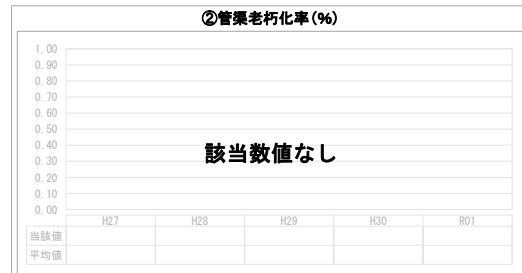
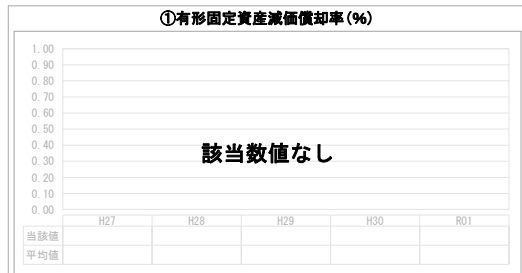
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和元年度単年で見ると収支は黒字であるが、償還金や管理費の一部を一般会計へ依存している状況であるため、更なる経費削減に取り組んでいく必要がある。経費回収率は前年に比べ上昇しており、汚水処理原価の下落が影響していると考えられる。水洗化率はほぼ横ばいで推移しているが、施設利用率は緩やかに減少している。これらを向上させるために汚水処理経費の削減及び接続率の向上に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

平成11年・14年から供用開始しており、それぞれ老朽化が進行している。それに加え施設等の機器の故障、管渠の老朽化も進んでいる。最適化構想を元に安定した施設管理・更新を行っていく必要がある。

全体総括

人口減少に伴い使用料収入は年々減少すると予想される。今後老朽化により施設修繕・更新に係る費用が発生してくる可能性が高い。その中で安定した経営を行うために加入促進や最適整備計画に沿った施設管理を行っていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。